



秋の音が聞こえる美しい季節が到来しました。今月号も最新トピックスをお届けします。

国内動向▶▶▶▶▶

① PFOA に関連する改正を官報公示 (厚生労働省・経済産業省・環境省・総務省・国土交通省・防衛省)

「PFOA又はその塩」の化審法第一種特定化学物質指定に伴い、容器、包装又は送り状の表示と消火器、消火器用消火薬剤及び泡消火薬剤に関する技術上の基準に関する改正が官報公示された。いずれも化審法改正令と同様、令和3年10月22日から施行される。

[もっと詳しく☞](#)

[官報 \(厚生労働省・経済産業省・環境省 告示第五号\)](#)

[官報 \(総務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省・環境省・防衛省 令第一号\)](#)

② 令和2年度化学物質のリスク評価検討会報告書を公表 (厚生労働省)

厚生労働省の化学物質のリスク評価検討会は、令和2年度に実施した8物質のリスク評価結果 (詳細リスク評価1物質、初期リスク評価7物質) について取りまとめた報告書を公表した。

[もっと詳しく☞](#)

[厚生労働省 \(「令和2年度化学物質のリスク評価検討会報告書」を公表します\)](#)

[厚生労働省 \(令和2年度化学物質のリスク評価検討会報告書\)](#)

③ 令和3年度第1回化学物質のリスク評価に係る企画検討会を開催 (厚生労働省)

令和3年9月8日、厚生労働省の令和3年度第1回化学物質のリスク評価に係る企画検討会がオンライン形式で開催された。令和2年度のリスク評価の実績等について報告されるとともに、令和3年度のリスク評価実施方針やリスクコミュニケーションの進め方について議論された。

[もっと詳しく☞](#)

[厚生労働省 \(令和3年度 第1回化学物質のリスク評価に係る企画検討会 資料\)](#)

海外動向▶▶▶▶▶

① 成形品中の PIP (3:1) に対する禁止規則の遵守期限を延期 (米国 EPA)

米国環境保護庁は、TSCA第6条(h)に基づく残留性・生物蓄積性・毒性 (PBT) 特性を有する5物質の禁止規則の中で、電子製品等に含まれるイソプロピル化フェノール=ホスファート (3:1) (PIP (3:1), CAS RN : 68937-41-7) に関する内容の適用日を2022年3月8日に延期する最終規則を公布した。

[もっと詳しく☞](#)

[Federal Register \(Vol. 86, No. 178 / Friday, September 17, 2021 / Rules and Regulations\)](#)

② REACH 規則の高懸念物質 (SVHC) として4物質を提案 (ECHA)

ECHAは、新たに4物質について、認可対象候補リスト (Candidate List) に追加する高懸念物質 (SVHC) として特定する提案の意見募集を開始した (10月18日まで)。

[もっと詳しく☞](#)

[ECHA \(Substances of very high concern identification\)](#)

③ 工業化学品を評価するためのロードマップを公表 (AICIS)

オーストラリア工業化学品導入機構 (AICIS) は、オーストラリア国内で工業化学品を導入及び使用することによるヒト健康と環境へのリスクを評価するための戦略的アプローチの概要を示すAICIS評価ロードマップを公表した。ロードマップには評価目標及び目標達成のための6つの行動分野などが含まれている。

[もっと詳しく☞](#)

[AICIS \(Evaluations Roadmap A strategic approach to the evaluation of industrial chemicals. \)](#)

ケミカルマテリアルJapan 2021 -ONLINE-

第7回 化学物質管理ミーティング出展

化学物質管理に関する国内唯一の展示会である化学物質管理ミーティング（化学工業日報社主催、<https://www.chemmate.jp/online>）が今年もオンラインで開催されます。開催期間は2021年10月18日～10月29日です。

Web上の展示ブースでは、受託試験に関する資料をダウンロードしていただけるほか、マイクロプラスチックの規制動向、皮膚感作性試験メニュー、PFOAを含むPFAS関連の規制動向とその分析、製品リスク評価に関する紹介動画（Webキャスト）が期間中いつでもご覧いただけます。Webならではの利点を生かし、多くの皆様に弊機構の業務をご紹介できるものと思います。

関係職員一同、皆様のご参加をお待ちしています。

◇ Webキャストのタイトル一覧（各10分程度です）

No.	タイトル	閲覧するとこんなことがわかる！
1	CERIの化学物質管理まるごとサポート CERIオンラインセミナー	5分でわかる！セミナー内容とCERIの業務
2	欧州マイクロプラスチック規制の動向	サンプルに適した生分解性試験とその概要に納得！
3	皮膚感作性試験メニューの紹介	皮膚感作性試験の概要&試験法選択の一助に！
4	PFOAを含むPFAS規制動向	なるほど！納得！PFAS規制、国内外の最新動向
5	PFAS規制関連物質の分析について	どの程度低い濃度まで測定可能？分析の実際をご紹介
6	CERIの製品中化学物質のリスク評価支援	リスク評価で貴社の製品に付加価値をつけませんか？

お知らせ

○ 2021年日化協LRI研究発表会 シンポジウム「化学物質管理に関わる人材の育成」

8月20日に開催された日化協LRI研究発表会におけるシンポジウムにおいて、本機構の片桐職員がシンポジストとして参加し、CERIの化学物質管理支援について講演を行いました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

ご質問等ございましたら、以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。



安全性評価技術研究所 評価事業部

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル7F

Tel: 03-5804-6136 (担当: 石井 (聡)、佐野)

URL: <https://www.cerij.or.jp> E-mail: cac-reach@ceri.jp